



平成29年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年6月14日

上場会社名 株式会社 オービス  
 コード番号 7827 URL <http://www.orvis.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝  
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

上場取引所 東

TEL 084-934-2621

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第2四半期の業績(平成28年11月1日～平成29年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第2四半期	4,232	—	82	—	62	—	212	—
28年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第2四半期	123.00	—
28年10月期第2四半期	—	—

当社は、平成28年10月期第2四半期は連結業績を開示しておりますが、平成28年10月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成28年10月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。なお、個別業績の前年同四半期との比較は、添付資料9ページ「3. 補足情報」に記載しておりますので、ご参照下さい。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年10月期第2四半期	12,457	2,485	20.0	1,435.84
28年10月期	10,058	2,300	22.9	1,328.83

(参考)自己資本 29年10月期第2四半期 2,485百万円 28年10月期 2,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年10月期	—	0.00	—	—	—
29年10月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の業績予想(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,281	△7.5	310	△46.4	245	△55.2	219	△58.1	126.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年10月期2Q	1,732,000 株	28年10月期	1,732,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

29年10月期2Q	946 株	28年10月期	946 株
-----------	-------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年10月期2Q	1,731,054 株	28年10月期2Q	1,731,085 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済状況の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は平成28年5月1日付で、連結子会社であった株式会社パルを吸収合併いたしました。

これにより、平成28年10月期第3四半期累計期間より従来連結で行っておりました決算を単体決算に変更したことにより、当第2四半期累計期間は、四半期連結財務諸表を作成しておりません。そのため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行っておりません。

当第2四半期累計期間（平成28年11月1日～平成29年4月30日）のわが国経済は、政府・日銀による財政・金融等の積極的な経済政策を背景に雇用・所得環境の改善が見られ緩やかな回復基調で推移しているものの、トランプ政権誕生に伴う米国経済政策の急速な保守化懸念や中東・北朝鮮等の地政学的リスクが一層高まりつつある状況下で、為替動向を含めた経済全般に先行き不透明感が増しております。

このような環境のもと、当社は、継続かつ安定的な事業の拡大を通して企業価値を向上させると共に、お客様に提供するサービスや製品について、高い品質レベルを一貫して保つことで、お客様満足度の向上による収益の確保に取り組んでまいりました。

木材事業におきましては、梱包市場全体の需要が引き続き低迷を続ける中、安価な国産杉丸太を原材料とした輸送用パレット用材の生産比率を高めるなど、納期短縮による競争力の強化を図ったことにより、受注・生産共に前年同期を大幅に上回る水準で推移いたしました。

また、高い品質の確保と生産効率の大幅な改善等が見込まれる新工場の建設に着手し、お客様に求められる製品を提供し続ける「もの」づくりの体制確立に努めてまいりました。

しかしながら、ニュージーランド産丸太の現地価格は、最大消費国の中国需要が底堅いことから高止まりの状態が続き、昨年11月から12月にかけての急激な為替円安の影響と相まって、大幅に上昇いたしました。また、競合樹種である安価なチリ産製品の影響もあり、原材料価格上昇分の販売価格への転嫁に遅れがみられるなど、利益面では厳しい状況で推移いたしました。

その結果、売上高は24億91百万円、営業利益は69百万円となりました。

ハウス・エコ事業におきましては、公共投資は年度予算の前倒しなどにより底堅く推移し、民間設備投資も企業収益の改善等を背景に好調を維持するなど、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境のもと、売電価格の低下による太陽光発電設備関連工事の減少や建設業界における受注競争が激化する中、受注環境を注視しつつ、採算性とボリュームのバランスを見極めた営業活動を推進してまいりました。また、売電目的の太陽光発電所は第1四半期において約1.6メガワットが新たに稼働を開始し、当第2四半期には6月売電開始予定の広島県福山市福山工場発電所約0.85メガワットの工事に着手するなど、積極的な事業展開を行った結果、当第2四半期末には約10メガワットの発電所が稼働しております。なお、来期以降計画中のものを含めると合計で約12.5メガワットの発電所が稼働する見込みであります。

その結果、前年同期に大型物件の完工が相次いだ反動減により売上高は15億5百万円、営業利益は89百万円となりました。

ライフクリエイティブ事業におきましては、個人消費が緩やかに持ち直してきたものの、消費者マインドに足踏みがみられ、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、ゴルフ場部門におきましては、高品質で効率的なコースメンテナンスを実現するための作業機械の導入や最新のGPSナビゲーションシステムの導入を行うなど、積極的に設備投資を行い新たな事業基盤を構築し、他コースとの差別化に努めた結果、4月の単月ベースでは過去最高の入場者数を記録いたしました。

フィットネス部門におきましては、女性向けのインドアサイクルや体組成計の導入によって新たなサービスの提供を開始すると共に、施設見学会・各種イベントの開催等によって新規入会者の獲得と退会者の抑制に努めてまいりました。

その結果、売上高は1億88百万円、営業損失は11百万円となりました。

不動産事業の賃貸物件（4棟）におきましては、8割を超える安定した稼働率を確保いたしました。

その結果、売上高は47百万円、営業利益は30百万円となりました。

上記の結果、売上高は42億32百万円、営業利益は82百万円、経常利益は62百万円、四半期純利益は繰延税金資産の計上等に伴う法人税等調整額1億35百万円の計上もあり2億12百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して23億98百万円増加し124億57百万円となりました。その主な要因は完成工事未収入金が3億31百万円、その他(流動資産)が3億70百万円、建設仮勘定が16億20百万円それぞれ増加し、現金及び預金が3億49百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較して22億13百万円増加し99億72百万円となりました。その主な要因は短期借入金が12億50百万円、その他(流動負債)が4億40百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較して1億85百万円増加し24億85百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が1億86百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の業績予想につきましては、平成28年12月14日の「平成28年10月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において公表した業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	896,224	546,755
受取手形及び売掛金	1,336,601	1,420,434
電子記録債権	9,073	17,678
完成工事未収入金	1,078,799	1,410,608
リース未収入金	598,586	765,755
商品及び製品	87,551	88,183
販売用不動産	12,231	12,306
仕掛品	29,303	27,294
未成工事支出金	21,631	8,556
原材料及び貯蔵品	272,436	184,378
その他	151,541	522,052
貸倒引当金	△848	△1,012
流動資産合計	4,493,132	5,002,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	497,549	487,229
機械装置及び運搬具(純額)	1,457,139	1,701,200
土地	3,137,726	3,137,726
建設仮勘定	186,114	1,806,514
その他(純額)	86,534	132,154
有形固定資産合計	5,365,064	7,264,825
無形固定資産	48,414	57,502
投資その他の資産		
投資有価証券	107,683	88,773
その他	47,753	46,196
貸倒引当金	△3,300	△2,613
投資その他の資産合計	152,136	132,356
固定資産合計	5,565,614	7,454,684
資産合計	10,058,747	12,457,676

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	413,421	609,773
工事未払金	204,860	248,061
短期借入金	1,250,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,031,107	1,130,910
未払法人税等	66,071	17,397
賞与引当金	71,529	55,917
完成工事補償引当金	5,554	2,552
その他	932,999	1,373,905
流動負債合計	3,975,543	5,938,517
固定負債		
長期借入金	3,419,243	3,636,517
退職給付引当金	131,745	131,244
役員退職慰労引当金	51,627	50,921
資産除去債務	11,667	11,756
その他	168,642	203,194
固定負債合計	3,782,925	4,033,634
負債合計	7,758,469	9,972,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,980	684,980
資本剰余金	512,980	512,980
利益剰余金	1,076,884	1,263,842
自己株式	△830	△830
株主資本合計	2,274,013	2,460,971
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,383	23,985
繰延ヘッジ損益	881	567
評価・換算差額等合計	26,264	24,553
純資産合計	2,300,277	2,485,525
負債純資産合計	10,058,747	12,457,676

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
売上高	4,232,186
売上原価	3,550,806
売上総利益	681,380
販売費及び一般管理費	598,591
営業利益	82,789
営業外収益	
受取利息	14
受取配当金	913
仕入割引	812
受取保険金	6,417
受取賃貸料	2,400
その他	5,034
営業外収益合計	15,591
営業外費用	
支払利息	23,362
その他	12,168
営業外費用合計	35,530
経常利益	62,850
特別利益	
固定資産売却益	321
投資有価証券売却益	23,324
役員退職慰労引当金戻入額	2,505
特別利益合計	26,151
税引前四半期純利益	89,002
法人税、住民税及び事業税	11,721
法人税等調整額	△135,642
法人税等合計	△123,921
四半期純利益	212,923



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	89,002
減価償却費	148,151
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△523
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,611
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△3,002
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△501
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△706
受取利息及び受取配当金	△927
支払利息	23,362
投資有価証券売却損益(△は益)	△23,324
中古リース用資産の販売、除却に係る原価	2,681
有形固定資産売却損益(△は益)	△278
有形固定資産除却損	100
売上債権の増減額(△は増加)	△591,416
たな卸資産の増減額(△は増加)	102,434
前渡金の増減額(△は増加)	△170,622
仕入債務の増減額(△は減少)	239,552
リース前受収益の増減額(△は減少)	62,029
その他	△145,338
小計	△284,936
利息及び配当金の受取額	749
利息の支払額	△22,083
法人税等の支払額	△58,002
営業活動によるキャッシュ・フロー	△364,274
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
投資有価証券の取得による支出	△1,680
投資有価証券の売却による収入	41,940
有形固定資産の取得による支出	△1,548,532
有形固定資産の売却による収入	325
貸付金の回収による収入	70
無形固定資産の取得による支出	△8,853
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,516,729
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,250,000
長期借入れによる収入	835,000
長期借入金の返済による支出	△517,923
リース債務の返済による支出	△9,845
配当金の支払額	△25,698
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,531,533
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△349,469
現金及び現金同等物の期首残高	806,224
現金及び現金同等物の四半期末残高	456,755

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

I 当第2四半期累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	ライフ クリエイティブ事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	2,491,021	1,505,086	188,616	47,462	4,232,186
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,491,021	1,505,086	188,616	47,462	4,232,186
セグメント利益又は損失(△)	69,459	89,889	△11,905	30,921	178,365

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	178,365
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△95,575
四半期損益計算書の営業利益	82,789

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 補足情報

個別業績

経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第2四半期	4,232	△19.6	82	△84.5	62	△87.9	212	△49.0
28年10月期第2四半期	5,265	36.5	534	113.8	519	117.0	417	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第2四半期	123.00	—
28年10月期第2四半期	241.00	—